

2026 年 8 月 3 日

関係機関長 殿

学校法人 酪農学園
理事長 高島 英也
[公印省略]

酪農学園大学農食環境学群環境共生学類専任教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当学園の酪農学園大学農食環境学群環境共生学類では、下記の要領で専任教員の公募を行うことになりました。

本学は「神を愛し、人を愛し、土を愛する三愛精神」、「健土健民」および「実学教育」を建学の柱とするキリスト教主義大学であり、この理念に基づいた教育ならびに研究活動に理解を示し、農学とその関連科学の教育・研究により農畜産業の持続的発展と自然環境の保全並びに農食文化の進展に貢献する熱意のある方の応募を希望しています。

つきましては、貴関係諸機関への周知方並びに適任者の推薦及び公募について、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。なお、本学は男女共同参画および男女雇用機会均等を推進しております。

謹白

記

1. 専門分野「気象・気候学」

2. 担当予定科目

・ 共通教育科目

地学（分担）、地学実験（分担）、健土健民・農食環境学入門実習（分担）など

・ 専門教育科目

気象・気候学、気象学の基礎、環境共生学概論（分担）、地球環境科学の基礎（分担）、自然環境学実験実習 I・II（分担）、水圏・地圏総合実習（分担）、基礎演習、専門ゼミナール I・II、卒業研究 I・II、研究発表など
実践生命環境学実習（分担・2027 年度限り）

※共通教育科目のうち、担当可能な科目（自然科学教育、分担を含む）を担当することがある。また、カリキュラム改訂に伴い、変更もありうる。

※環境コミュニケーションに関する授業を担当することがある。

※大学院酪農学研究科において、修士・博士課程での関連分野科目の講義・演習・特別研究指導などを担当することがある。

※上記のほか、入試業務、学生指導業務、普及活動支援業務、その他各種委員等を担当することがある。

3. 職名・人数

准教授、講師、または助教 1名

4. 採用予定日

2027年4月1日

5. 応募資格

- (1) 酪農学園の建学の精神に賛同し、協働できる方
- (2) 博士の学位を有する方、または着任時までに取得できる方
- (3) 気象学、気候学、環境科学に関する専門的知見を有し、野外フィールドを用いた調査研究経験を有している方
- (4) 環境問題に関する科学コミュニケーション、リスクコミュニケーション、参加型学習、地域協働、環境教育、アウトリーチ等に関する研究または実践経験を有する、あるいはこれらに積極的に取り組む意欲を有している方
- (5) 教育と研究に熱意と意欲があり、野外フィールドを中心とした教育・研究と、地域連携・社会貢献を含むエクステンション活動を推進できる方

6. 応募期限

2026年9月18日（金）必着

7. 提出書類（各1部）

- (1) 履歴書（A4判、本学様式第1号）
- (2) 研究業績目録（A4判、本学様式第2号）
著書および総説、学術論文、学位論文、その他報文、口頭（学会）発表、受賞・特許等、その他（主要な学術研究費の交付等）のリスト
※上記(1)、(2)は本学ホームページに掲載したものをダウンロードして使用下さい。
URL：<https://www.rakuno.ac.jp/>「お知らせ」の該当募集案内
- (3) 主要研究業績（著書もしくは論文）3点（別刷またはコピーでも可）、およびその3点の各業績について400字程度の要約（A4判、任意様式）
- (4) 応募資格等に関連した活動や教育経験をまとめた書類（A4判、任意様式）
- (5) 博士の学位を有する方は、学位記の複写物
- (6) 博士の学位を取得予定の方は、その旨を記載した指導教員の所見（A4判、任意様式）
- (7) 気象・気候学に関するこれまでの研究経歴、環境コミュニケーション（環境問題に関する科学コミュニケーション、リスクコミュニケーション、参加型学習、地域協働、環境教育、アウトリーチ等）に関する教育・研究または実践経験、これまでの指導・普及等に関する経験、ならびに着任後のフィールドを活用した教育・研究に対する抱負や、地域貢献・社会貢献を含むエクステンション活動や今後のビジョン（A4判、2,000字以内にまとめたもの、任意様式）
- (8) 推薦書（推薦書が得られる場合は、A4判用紙、任意様式）または応募者のこれまでの教育・研究や実践内容、応募資格などに関して、所見を求めることができる方2名の氏名、職名及び連絡先（A4判用紙、任意様式）

8. 応募書類の作成について

- (1) 履歴書（A4判、横書き、本学様式第1号）
 - ① 高等学校以降の学歴、職歴、教育歴、取得学位、所属学会、E-mailアドレス、日中の連絡先・電話番号（携帯電話等）を記載し、写真添付、年号は西暦表記、自筆署名・押印のこと。

- ② 学歴は高校卒業時より記入する。外国における留学、研究歴を記入する場合は、6か月以上の滞在とする。
- ③ 学位は授与年月、学位名、授与された大学名、論文題名を記入する。
- ④ 職歴、教育歴は職名、所属機関名を明記する。
- ⑤ 関連する資格があれば、その取得年月日および資格名称を記入する。それらの合格証明となる書類の写しを別途添付する。
- ⑥ 所属学会（会員、役員などの区別）や社会において関連する業務（役職）・プロジェクトに参加した場合については、その活動なども記入する。

(2) 研究業績目録（A4判、横書き、本学様式第2号）

次の区分に従って、年代の新しいものから順に番号を付して記入する。年号は西暦表記とする。

- ① 著書および総説：単著と共著を区別し、共著の場合は分担分を記入する。著者名、書名（分担の場合は執筆部分の章、節などの題目、開始と最終ページ）、出版社、発行年。
- ② 学術論文：レフリー制度のある雑誌の掲載論文。著者名（全著者）、題名、誌名、巻、開始と最終ページ、発行年。
- ③ その他報文：大学の紀要・学術報告、研究会等報告、業界雑誌、シンポジウムなどの掲載論文、翻訳出版物。①、②に準じて記載する。
- ④ 口頭（学会）発表：学会あるいはシンポジウム名、題名、開催地、開催年。
- ⑤ 受賞、特許等：受賞名、受賞年、授与者、団体名、特許取得状況などを記載する。
- ⑥ その他（主要な学術研究費の交付他）：研究課題、交付年度、交付機関名および代表・分担の区別を記載する。

(3) 応募資格等に関連した活動や教育経験をまとめた書類（A4判、横書き、様式任意）

- ① 環境コミュニケーションや地域貢献、社会貢献に関連した活動や実績の一覧（名称、実施年月日、場所、実施機関など）
- ② これまでに担当したことのある講義や実験・実習などの名称と実施機関、それらの内容の概要

9. 応募書類提出先

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

学校法人酪農学園 経営サポート部 総務課

担当：総務課長・渡辺 篤志

電話：011-388-4111（ext6110）

E-mail：watanabe@rakuno.ac.jp

※ 応募書類は（簡易）書留便として「気象・気候学教員応募書類在中」と朱書きして下さい。

10. 職務内容の照会先

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

酪農学園大学農食環境学群環境共生学類

担当教員：学類長・吉田 磨

電話：011-388-4752

E-mail：yoshida@rakuno.ac.jp

11. その他

- (1) 応募書類は本募集に必要な範囲でのみ利用します。また、提出された書類は返却いたしませんので、ご了承下さい。

- (2) 給与等は、本学の給与規程によります。
- (3) 必要に応じて、最終面接とは別に、模擬講義、これまでの研究の説明や着任後の抱負等に関するプレゼンテーションを行っていただく場合があります。
- (4) 選考に係るプレゼンテーション・面接の旅費は各自のご負担となります。

※迷惑メール対策のため、前記の E-mail アドレスは「@」で全角で表示しています。

以上